

藤原直哉の学びのカフェ@遠山郷 2024年10月

改めて読み直す出口なおの予言

—明治・大正に語られた今と未来の姿—

- 1、 そもそも予言とは何か、予言は当たるのか
- 2、 出口なお、大本開祖（1837-1918）の紹介
- 3、 「うしとらの金神」という神様の言葉が取り次がれた
- 4、 出口なおのお筆先は出口王仁三郎がまとめて大本神諭に
- 5、 三千世界の立て替え・立て直しが始まる
- 6、 大難を小難に、小難を無難に
- 7、 立て分けがある。立て直しの御用に役立つ人になるよう
- 8、 日本人には使命がある
- 9、 みろくの世の到来が予言されている
- 10、 「神書」と普通の本の違い
- 11、 具体的に読んでみよう。各自いま何を感じるかが答え